



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

医科歯科連携シンポジウムを開催して

「アプローチ方法について考える」



水島歯科会場

2021年2月17日に、医科歯科連携シンポジウムが開催されました。



コープリハ・あかね会場

この度は、コープリハビリテーション病院、老健あかね、水島歯科診療所の職員総勢70名程が参加し、計4会場を設け初のリモートによる開催

した。シンポジストとして水島歯科より2名の講演を、その後は「好奇心充足タイム」として医科歯科双方がお互いの私生活も含めた関心事に答える場を設けました。

1 講演目は「医科歯科連携について考える」をテーマに私がお話ししました。近年、特に歯科業界において医科歯科連携は熱いテーマであり、専門誌にも度々特集が組まれています。ただ、全国に多くの病院がありますが、歯科医師の多くは診療所に勤務し、病院に勤務する歯科医師は全体の3%にすぎません。病院に入院する患者さんの歯科治療の機会は、多くの場合失われてしまうのが現状です。しかしコープリハビリテーション病院・老健あかねには歯科があります。お口の健康は我々にお任せください。患者さん・利用者さんのために、さらなる連携をはかるべく、この度のシンポジウムは開催されました。



事前打ち合わせ。右が鍛本院長、田辺事務次長。左が辻所長、石井事務長、神谷歯科医師、筆者。



「好奇心充足タイム」での質問に答える井上管理栄養士

2 講演目は杉原事務より診療報酬についての講演でした。歯科の診療報酬について、銀歯が入ったときや入れ歯が入ったときの具体例をまじえながら、わかりやすく説明がありました。

「好奇心充足タイム」では36題もの事前質問が集まり、それぞれの担当者が回答をしていきました。歯科からの質問では「車椅子の移乗の



医師とのコーチング、ソーシャルワーカーとの保険制度の打ち合わせもリハビリ意欲にひと役。

働けるまではコープリハで

め、動く機会が減り、退院時よりも動作が鈍くなってしまう

そこで、医師、ケースワーカー、リハビリと本人で復職という大きな目標をもう一度共有しました。また自宅で行なう自主トレーニングメニューとチェックリストを渡し、復職の前段階である小さな目標を本人と一緒に決め、まずはそれを1つずつ達成していくことを決めました。目標は3つで「起き上がって靴を履くまで10秒」「ソファから立ち上がる」「杖を使っても安心して歩く」としました。

復職にはまだ時間が必要ですが、目標に向かいAさんは奮闘中です。

コープリハビリテーション病院
リハビリテーション科
理学療法士 小林 智治
作業療法士 寺本 瑛美



まずは起き上がって靴を履くまで10秒で！

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

移転4年目を迎えて

名前で呼ばれ 嬉しかった一年目

私が病院に勤めはじめ4月で1年になります。今思えばあつという間だったと思います。最初は患者様とコミュニケーションを取る事ができるかなど様々な不安がありました。しかしそんな自分に先輩職員の皆さんから丁寧なアドバイスを頂き、不安は大分なくなつたと思います。少しでも成長できるように先輩方の行動、言葉がけを観察し、真似ることから始めました。そうすることから始めました。合った対応を出来るようになったと思えます。最近の一部の患者様から名前で

呼ばれたことがとても嬉しかったです。まだまだ覚えることが多いですが、一つ一つの仕事をしっかりと行い成長していきたいです。コープリハビリテーション病院
事務 西 凜



病院の受付で患者様のご家族にお応えする筆者(左)

入所者と家族を繋ぐ 架け橋

あかねに配属になり、もうすぐ2年半になります。今までは救急病院での勤務が長かったため、まだ介護保険のサービスについてはじめて知ることも多く、勉強の毎日です。

あかねでは、ショートステイをはじめとして、入所・退所がとても多いです。新規に入所される方もたくさんいらっしゃるのですが、コロナ禍でご家族が来所できず、十分な情報が聞けない、入所者への訪問や退所に伴う会議などが縮小・省略される、などで情報把握が以前より難しくなっています。洗濯物の交換にいられたご家族に、担当スタッフ

が自宅での様子や要望を確認したり、入所中の何気ない様子でもご家族に伝えたり、と直接会えない入所者のご家族を繋げられるよう、常に気をつけて接していきたいです。

老健あかね
看護師 加藤 笑子



機能訓練室で利用者さんと筆者(左)

在宅療養の 要としての外来

コープリハビリテーション病院・老健あかねが移転して、あつという間の四年でした。当院の外来は相変わらず細々と診療を行っており、外来はどこにあるのと聞かれることもしばしばです。

当院の外来に定期通院される患者さんの多くは、本人の頑張りやご家族の介護はもろろん、いろいろなサービスを利用して在宅療養を支援することが必要です。中には自宅と老健あかね入所を循環するように利用して機能の低下を少しでも減らし、在宅療養を継続している方もおられます。

退院・退所後は、外来でも在宅療養の状況をお聞きして、何かあれば外来ソーシャルワーカーやケアマネージャー、各サービス事業所に相談します。周知したほうが良い情報は患者・家族の了解を得てタイムリーに伝えることもあります。その情報共有がより具体的なりハビリ目標や支援の方法の見直しなどに役立つと思っていますし、そうした対応ができることが当院外来の強みであると思っています。その一方、病状のコントロールが非常に難しいケースも増えてきましたし、医療よりも生活を考えることを優先することもあり在宅療養の難しさも痛感しています。この一年はコロナの関係

で患者さん・家族と顔を寄せて話をする時間も削られて十分関わりが持てませんでしたが、今後も気軽に声をかけて頂ける外来となれる

ようにスタッフ一同頑張りますので、よろしくお願います。
コープリハビリテーション病院
外来看護師 西 みどり



外来の診察現場で医師、MSWと相談(筆者右)

診療表					老健あかね [086-446-6541]	
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]					訪問リハビリ	通所リハビリ
外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健祥アップ 教室		
午前 9:00~ 12:30	14:30~ 15:00	午後	9:00~ 16:50	9:30~ 11:00	○	○
月			○	○	○	○
火	渡辺 (予約制)	(予約制)	○	○	○	○
水	川村		○	○	○	○
木	太田	(予約制)	○	○	○	○
金	飯塚		○	○	○	○
土				○	○	○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 平日 9:00~16:30
土曜日 9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。

無料低額診療事業・無料低額介護老人保健施設利用事業を行っています。